

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 邦文



■ 新年を迎えて



みなさん、新年おめでとうございます。

今年は、4月に市長選、10月に市議会議員の選挙があります。

本市も誕生後12年になろうとしています。最近では、合併時と比較し、総じて投票率が下がりが続いています。県議選や国会議員の選挙も、同様の傾向にあります。

国政も県政も市政も、どれもみなさんの生活に直結しています。だれに託するのか。よく聞き、よく読み、そして自分でも考えて、ぜひ投票には行きましょね。投票率は、民主主義の定着度を測る重要な指標です。

この1年の、みなさんのご健康とご多幸をお祈りいたします。

■ 市政説明会について

かねての懸案事項でした「山口東京理科大学」の公立化と薬学部新設に関する市政説明会を、1月から2月にかけて、12の公民館等で順次実施します。公立化に至った前後の経緯と今後の展望などを、直接みなさんにご説明します。

これまでも断片的にはこの欄で取り上げてきましたが、今回はトータルにご理解いただけ

るよう準備してまいります。ふるさとの未来に花を咲かせる事業として、ぜひ関心を深めていただき、ご出席くださることを期待しています。

なお、本号でも「山口東京理科大学」に関する特集を組みました。まずは、こちらをお読みいただくと幸いです。

■ こんな市民もおられます

現在88歳。数年前に妻を失くし、独身。55歳までは公務員。その後、民間などで多年にわたって働き、今では晴耕雨読の日々。趣味はボウリング。市政に関心を持ってくださり、何かと支援を続けてくださっています。市役所庁舎の正面玄関に市民憲章の碑が建っていますが、彼の寄贈によるものです。その他、市役所には全部で100台を超える公用車がありますが、出払う日が多く、その不足台数を補うかのように、これまでに4台寄附してくれました。今年は別に10万円の寄附もいただきました。

お会いしての印象は決して贅沢をされる方ではなく、年金から生活費等に使った残りがまとまった金額になると、公共に使ってもらおうとお考えになるようです。今日もボディの隅にご夫妻の名前入りの公用車が街を走っています。

